



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長

(氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,465	△1.4	1,603	4.2	1,727	4.9	968	2.2
24年3月期第2四半期	25,829	2.0	1,538	16.6	1,647	14.1	947	18.4

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 944百万円 (△8.3%) 24年3月期第2四半期 1,029百万円 (71.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	30.23	—
24年3月期第2四半期	29.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	66,813		52,907		79.2
24年3月期	62,798		52,506		83.5

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 52,907百万円 24年3月期 52,444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	3.3	3,650	1.2	3,900	1.2	2,300	9.6	71.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,991,521 株	24年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,969,516 株	24年3月期	2,967,628 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	32,023,296 株	24年3月期2Q	32,025,871 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表等 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速等を背景に、持ち直しの動きが一服する状況となりました。

食品業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が続き、厳しい状況で推移しました。

このような環境の中、当グループにおきましては、①主力の「ふじっ子煮」の回復、②更なる成長を期待する包装惣菜「おかず畑」と「カスピ海ヨーグルト」の育成、③業務用チャンネル、通信販売チャンネルの拡大に取り組みました。将来を見据えた研究開発活動では、カスピ海ヨーグルトのおなか年齢若返り効果の研究に着手しました。

売上面におきましては、第1四半期の昆布製品を中心とした減収を取り戻すべく、「ふじっ子煮」と包装惣菜「おかず畑」のTVCM放映を始め積極的なプロモーション活動を展開しましたことから、8月以降の月間売上高は前年実績を上回るようになりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は254億65百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

利益面におきましては、そう菜製品の伸長や「ふじっ子煮」の持ち直し等により、営業利益は16億3百万円（前年同四半期比4.2%増）、経常利益は17億27百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。四半期純利益は、特別損失として投資有価証券評価損の計上がありました。9億68百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

昆布製品は、第1四半期に大幅減収となった「ふじっ子煮」が新商品「あさり生姜こんぶ」の投入や首都圏でのTVCM放映により、持ち直してきましたが、「袋佃煮」、「とろろ昆布」、「塩こんぶ」の苦戦が続き、前年同四半期に比べて減収となりました。

そう菜製品は、包装惣菜「おかず畑」が引続き伸長し、前年同四半期を大きく上回りました。「おかず畑」は、家庭内食事機会の増加や簡便調理ニーズの高まりを背景に販売が伸びており、近畿圏では更なる需要拡大を目指しTVCMを放映しました。

豆製品は、常温保存が可能で食べきりサイズのニーズに応える「こだわり煮豆」や、販路を広げている「業務用煮豆」が伸長しましたが、「大粒豆」や「七目豆」等が苦戦し、ほぼ横ばいで推移しました。

デザート製品は、ほぼ前年同四半期並みの水準に回復しました。「フルーツセラピー」は、夏場の暑さがプラスに働いたことや新商品「フルーツセラピー林檎」の発売が牽引して、販売が上向いてきました。カスピ海ヨーグルト製品は、「ねばりのチカラ」キャンペーン等を通じて新規顧客の開拓と既存顧客のリピー率向上を図り、量販店チャンネルで「カスピ海ヨーグルトプレーン400g」が伸長しましたことに加え、通信販売チャンネルの「善玉菌のチカラ」サプリメントが好調に推移しました。

その他製品は、レンジで簡単にバランスの良い朝食が楽しめる「朝のたべるスープ」がラインナップを拡充し好調に推移しましたが、「クロクロ（黒酢黒大豆）」、「大豆イソフラボン」等の動きが低調だったため、前年同四半期に比べて減収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ40億15百万円増加し、668億13百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ29億54百万円増加し、332億99百万円となりました。これは主に借入による資金調達を行い、現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ10億60百万円増加し、335億13百万円となりました。これは主に北海道工場と鳴尾工場新工場棟の建設が始まり、建設仮勘定が増加したことによるものです。

負債の部では、流動負債は、前連結会計年度末に比べて27億88百万円増加し、112億42百万円となりました。これは主に北海道工場と鳴尾工場新工場棟の建設に係る未払金の増加や短期借入金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて8億26百万円増加し、26億64百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

純資産の部では、純資産合計は前連結会計年度末に比べ4億円増加し、529億7百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.5%から79.2%となりました。

## (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億52百万円増加し、126億85百万円（前年同四半期末は132億59百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を16億16百万円、減価償却費を9億56百万円計上する一方、法人税等の支払等があり、15億41百万円の収入（前年同四半期は22億54百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入や有形固定資産の取得等により、15億円の支出（前年同四半期は10億47百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の増加により、14億11百万円の収入（前年同四半期は1億43百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成24年3月期決算発表時）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,733	17,185
受取手形及び売掛金	8,403	9,278
商品及び製品	747	723
仕掛品	410	445
原材料及び貯蔵品	5,472	5,033
繰延税金資産	335	274
その他	244	360
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,345	33,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,921	28,888
減価償却累計額	△19,516	△19,781
建物及び構築物(純額)	9,405	9,106
機械装置及び運搬具	19,223	19,424
減価償却累計額	△16,579	△16,845
機械装置及び運搬具(純額)	2,643	2,579
工具、器具及び備品	1,718	1,753
減価償却累計額	△1,452	△1,487
工具、器具及び備品(純額)	265	266
土地	13,588	13,562
建設仮勘定	92	1,777
有形固定資産合計	25,995	27,291
無形固定資産		
ソフトウェア	614	459
その他	186	208
無形固定資産合計	800	668
投資その他の資産		
投資有価証券	4,218	4,016
繰延税金資産	684	688
その他	791	886
貸倒引当金	△38	△37
投資その他の資産合計	5,656	5,553
固定資産合計	32,452	33,513
資産合計	62,798	66,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,643	4,070
短期借入金	210	1,230
未払金	2,562	4,232
未払法人税等	839	603
未払消費税等	248	208
賞与引当金	439	415
預り金	285	285
その他	225	195
流動負債合計	8,453	11,242
固定負債		
長期借入金	—	875
繰延税金負債	2	2
退職給付引当金	1,222	1,186
役員退職慰労引当金	613	601
固定負債合計	1,838	2,664
負債合計	10,292	13,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302
利益剰余金	41,684	42,172
自己株式	△3,200	△3,201
株主資本合計	52,353	52,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	67
その他の包括利益累計額合計	91	67
新株予約権	61	—
純資産合計	52,506	52,907
負債純資産合計	62,798	66,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	25,829	25,465
売上原価	16,048	15,415
売上総利益	9,780	10,049
販売費及び一般管理費	8,241	8,446
営業利益	1,538	1,603
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	59	62
受取賃貸料	27	37
その他	26	41
営業外収益合計	117	146
営業外費用		
支払利息	6	6
賃貸費用	2	14
その他	0	0
営業外費用合計	9	22
経常利益	1,647	1,727
特別利益		
固定資産処分益	0	0
新株予約権戻入益	0	61
特別利益合計	0	61
特別損失		
固定資産処分損	16	1
投資有価証券評価損	0	170
その他	6	—
特別損失合計	22	171
税金等調整前四半期純利益	1,624	1,616
法人税、住民税及び事業税	640	580
法人税等調整額	36	68
法人税等合計	677	648
少数株主損益調整前四半期純利益	947	968
四半期純利益	947	968

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	947	968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	△23
その他の包括利益合計	82	△23
四半期包括利益	1,029	944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,029	944
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,624	1,616
減価償却費	1,170	956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13	△36
受取利息及び受取配当金	△62	△67
支払利息	6	6
固定資産処分損益(△は益)	16	0
売上債権の増減額(△は増加)	73	△875
たな卸資産の増減額(△は増加)	178	427
仕入債務の増減額(△は減少)	159	427
未払金の増減額(△は減少)	△112	△52
未払消費税等の増減額(△は減少)	9	△39
預り金の増減額(△は減少)	2	0
その他	△158	△80
小計	2,902	2,262
利息及び配当金の受取額	62	67
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△706	△782
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,254	1,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△900	△3,000
定期預金の払戻による収入	300	2,000
有形固定資産の取得による支出	△360	△340
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△27	△70
投資有価証券の取得による支出	△61	△6
投資有価証券の売却による収入	2	2
貸付金の回収による収入	0	—
その他	△1	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047	△1,500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	730	730
長期借入れによる収入	—	1,500
長期借入金の返済による支出	△104	△335
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△480	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	143	1,411

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,350	1,452
現金及び現金同等物の期首残高	11,908	11,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,259	12,685

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円)

製 品 分 類	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年 4月 1日 至平成23年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年 4月 1日 至平成24年 9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計期間 (自平成23年 4月 1日 至平成24年 3月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比
昆布製品	8,546	33.1%	7,971	31.3%	△574	17,259	32.4%
そう菜製品	5,923	22.9%	6,368	25.0%	444	12,082	22.7%
豆製品	5,942	23.0%	5,886	23.1%	△55	12,979	24.4%
デザート製品	3,379	13.1%	3,305	13.0%	△74	5,721	10.7%
その他製品	2,036	7.9%	1,931	7.6%	△104	5,205	9.8%
合 計	25,829	100.0%	25,465	100.00%	△364	53,247	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。